

アフガニスタン復興 NGO 東京会議

地域別分科会アピール

北部 マザリシャリフ周辺

1. 地域の特徴

人口550万人。かつてはアフガニスタンの穀倉地帯であり、今日でも経済的潜在性は大きい。長年の内戦によるインフラ破壊と3年来の干ばつにより貧困が蔓延している。

2. 目的

復興・開発を通じた穀倉地帯としての再建を、1) 国内避難民・難民の帰還促進、2) 生産能力の向上、によって成し遂げる。

3. ニーズ

(1) 農業

- ・ 緊急支援(種子供給、電力供給、灌漑施設復旧、帰還国内避難民への食料確保、畜産支援、違法作物に代わる作物栽培の導入)
- ・ 復興支援(果樹園と遠隔地の農業に対するサービス充実、市場システムの開発)
- ・ 開発支援(安定的な成長促進、持続的な天然資源管理、民間部門の育成、植林、農業技術部門の再生)

(2) 保健医療

- ・ 緊急支援(安全な飲料水の確保、食料の確保、基礎的な保健施設の提供)
- ・ 復興支援(保健サービスの提供、診療所・病院へのアクセス確保、保健教育の充実、心理ケアの提供)

(3) 教育

- ・ 共通の教育政策
- ・ 教師の育成と教育カリキュラムの開発
- ・ 教育施設の提供
- ・ 児童の就学促進(給食の供給など)

(4) 地雷除去

- ・ 地雷・不発弾の除去
- ・ 意識向上

4. 提言

(1) 教育

- ・ 教育政策の重視を当局や援助機関に働きかける
- ・ 健全な財源の確保と政策の立案
- ・ NGO、国連などの役割の明確化と調整
- ・ 支援活動の連携・調整を行うしくみ構築

(2) ジェンダー

- ・ 政策決定過程への女性の参加
- ・ 女性担当省の設置
- ・ 伴侶を失った女性、障害のある女性、孤児に対する福祉政策
- ・ ジェンダー教育
- ・ マスメディアを通じた女性支援プログラムの促進
- ・ 婦人協会の再生

(3) 農業

- ・ 種子・肥料等の供給
- ・ コミュニティを基盤としたサービスの提供
- ・ 帰還難民に対する専門技術教育
- ・ 雇用創出計画の実施
- ・ 特定の対象者にむけた食料支援
- ・ 生産性の高い穀類、家畜の積極的な導入
- ・ 農業外労働の促進
- ・ 灌漑施設復旧と開発
- ・ コミュニティに基盤をおいたインフラ発展
- ・ マイクロファイナンスの導入
- ・ 社会的セーフネットの開発

(4) 保健医療

- ・ ベーシック・ヘルスサービス、疾病予防対策、栄養補給
- ・ 保健衛生教育の提供
- ・ リプロダクティブ・ヘルスの活性化
- ・ 母子保健医療の支援
- ・ 病院・公的医療施設の支援
- ・ 医療従事者の教育
- ・ 安全な飲料水の提供
- ・ 食料の提供
- ・ 保健医療施設へのアクセス確保

5. 結語

参加 NGO は、協力しあうことで上記の短期的課題、長期的課題に取り組むことができるこ

とを確認した。プログラム実施機関どうしの競争は避けるべきである。アフガン NGO はプログラムに長期的にかかわり、情報を更新、提供することができる。